



未来研の能勢秋吉議員

一般行政について

問 市では20代、30代の生産年齢人口の転出が非常に多い状態です。雇用の場が必要だと思いますが、企業誘致対策をどのように考えていますか。

答 市長 企業誘致により、雇用の場の創出、経済的波及効果が生まれます。今後の成田空港の機能強化や圏央道の完成後の展開を含め、中長期的に考えていくとともに、市内にある企業が末永くビジネスを展開できる環境づくりが重要と考えます。

問 圏央道横芝―大栄間は、順調に進めば、平成36年度に完成すると言われています。インター付近に、市用地を先行取得し、工業団地を作り、空港関連企業の誘致をして、雇用対策に取り組み考えはありますか。

答 総務部長 工業団地の候補地に、企業立地のニーズがあるかを把握

することが重要と考えます。用地の先行取得については、事業実施体制の整備が先決であると思いますが、ケースに応じて、検討を進めていくことが必要だと考えます。

問 山武市学校のあり方検討委員会が答申した、成東中学校と成東中学校の統合について、一部を見直すことで間違いありませんか。

答 市長 地域の理解を十分に得られていないと感じ、一度立ち止まって判断する必要があると考えました。生徒数の減少が見込まれることから、統合という方向性は教育委員会と共通の認識を持ちましたが、統合後の学校位置や時期については、平成31年度中を目途に示したいと考えます。

答 教育長 市長と協議・調整を図りながら進めていきたいと考えます。

問 文化の充実について、成東中央公民館は利用者が多く、公民館類似施設の拠点として活動していますが、建設から45年経過し、本年度も多額の修繕費を計上しています。成東中央公民館の改築について、第2次総合計画に載せ、進める考えはありますか。

答 市長 建て替えについては、公共施設個別施設計画の中で、長期的な財政展望を踏まえ、緊急性、有意性などを考えて、判断していきたいと思っています。

問 総合計画について、後期基本計画の達成率が低い事業をどのように検証しましたか。

答 総務部長 基本事業及び事務事業ごとに各課からヒアリング等を行い内容の把握に努め、達成率の低い政策を分析し、対策に取り組んでいるところです。今後十分に検証して、次期計画につなげていきたいと考えます。

土木行政について

問 成東駅から国道までの都市計画道路の進捗状況についてお聞きします。

答 都市整備課長 総延長約300mのうち、国道から変則十字路までの約100mについて、平成31年度に完成予定と県に確認しています。

問 津辺の交差点改良の計画は、どうなっていますか。

答 都市整備課長 県に確認したところ、平成31年度に完成させる工事については、南口線の既存道路を拡幅して、国道と接続する工事となり、国道と県道成東鳴浜線の交差点改良は、用地買収について地元の協力が得られないため、困難になっていると聞いています。

問 白幡交差点は朝8時前後、非常に渋滞します。長年にわたり、県等へも改良の要望を出しています。市の取り組みはどうですか。

答 市長 今後とも要望活動をしっかりしながら、改良の方向で進めていきたいと思っています。



改良が待たれる白幡交差点

問 県道松ヶ谷地先の道路改良について、取り組み状況をお聞きします。

答 市長 地元の区から要望を受け、昨年、県へ要望書を提出しました。この要望活動が実を結び、本年度、測量調査費が計上され、事業着手します。

空港関連事業について

問 騒音直下に位置する本市では、主にA滑走路による影響を大きく受けますが、更なる機能強化の進捗状況について伺います。

答 総務部長 国・県・空港周辺市町において、内窓設置事業等の環境対策や地域振興実施プランの作成についての担当者協議を行っています。また、NAAは、事業実施に向け、環境影響調査や航空法の変更に必要な手続を行っています。

※NAA：成田国際空港株